

授業科目名	富山に学ぶインターンシップ				科目コード	K1704F10
英文名	Internship in Toyama					
科目区分	富山の子ども育成					
職名	教授 准教授		担当教員名	松山 友之 河崎 美香		
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日		時限	5限目		
開講時期	4年通年		授業の方法	講義		
必修・選択	選択		単位数	2単位		
授業の概要	1 富山の特色ある教育・保育・福祉の実践現場において、就業体験をするとともに、現場での学びを通して、卒業後の進路選択や専門職としての在り方について考える。 2 事前指導においては、就業体験の意義を理解し、問題意識や目的意識を明確にできるよう個別指導、集団指導を行う。 3 事後指導においては、各自の課題の確認や実習成果のまとめを行い、今後の学習に役立てる。					
キーワード	就業体験	小学校	幼稚園	保育所	福祉施設	
到達目標	富山の特色ある教育・保育・福祉の実践現場において、就業体験をすることの意義を理解することができる。(40%)					
	就業体験に必要な倫理や態度、各実践現場で求められる知識と技術を理解することができる。(30%)					
	就業体験先（小学校や幼稚園、保育所、児童福祉施設、障害者・高齢者福祉施設、社会福祉協議会など）に関する基本的な理解を深めるとともに、卒業後の進路に役立てることができる。(30%)					
卒業要件・資格関連等						
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー	
	○		○			
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）					
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成					
キー・コンピテンシー（重視する能力）						
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力		
○	○	○	○			
教授方法（授業方法）						
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動	
○	○	○	○	○	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション、就業体験の位置付けと仕組み、年間計画		
	【予習】	就業体験先について情報を調べる。	30分
	【復習】	なぜ、就業体験するのかその意義についてまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第2回	就業体験の意義と各分野ごとの説明		
	【予習】	就業体験の計画をたてるための資料をあつめる。	30分
	【復習】	就業体験のめあて、計画をまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第3回	就業体験の意義と各分野ごとの説明		
	【予習】	就業体験のめあて、計画をま見直す。	30分
	【復習】	就業体験の計画を完成し、就業体験先に連絡を取る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第4回	第4回～第27回 各自が、学校・幼稚園・保育所・事業所・施設において、就業体験を実施する。 (1) 1 か所で定期的に実施する場合 例 1 週 1 回で 4 時間程度/日 約 5 月間実施 例 2 隔週 1 回 8 時間程度/日 約 5 月間実施 例 3 週 1 回で 8 時間程度/日 約 3 月間実施 例 4 週 2 回で 4 時間程度/日 約 3 月間実施 例 5 週 1 回で 4 時間程度/日、途中から週 2 回に 約 3 ～ 5 月間実施 (2) 1 か所で短期間に集中して実施する場合 例 1 大学休業期間中 (9 月) に 8 時間程度/日 約 1 0 日間実施 例 2 大学休業期間中 (9 月) に 4 時間程度/日 約 2 0 日間実施		
	【予習】	就業体験先ですべきことと注意事項を確認する。	30分
	【復習】	就業体験先で体験したことをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第5回			
	【予習】		
	【復習】		
第6回			
	【予習】		
	【復習】		
第7回			
	【予習】		
	【復習】		
第8回			
	【予習】		
	【復習】		

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	

第18回		
	【予習】	
	【復習】	
第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	

第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回	実習報告会のための振り返りとまとめ	
	【予習】就業体験したファイルを整理する。	30分
	【復習】就業体験した内容を確認し、成果を確認する。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第29回	実習報告会のための振り返りとまとめ	
	【予習】実習報告会のを整理する。	30分
	【復習】実習報告会のを準備をする。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第30回	実習報告会	
	【予習】実習報告会のパワーポイントを整理する。	30分
	【復習】就業体験のまとめを書き、提出する。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点、講義態度、報告会等（２０％）、実習先での評価（８０％）で総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	随時、授業中に資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	適宜指示
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、自己学習課題を課す。		
授業外質問方法	小学校は松山ゼミ室へ、幼・保は河崎ゼミ室へ、福祉は室林ゼミ室へ		
オフィス・アワー	金曜１限		